



校歌

- 一、空ふかき出雲
その空のふかきごとく
はるかなるいにしへの日に
まみ清き出雲の子らはたたへつつ
「幸ひはここにあり」
われらまたここにたたへむ
横田 横田 その名よし横田高校
- 二、雲白き出雲
その雲の白きごとく
みなかみにつねに洗ひて
はだ白き出雲の子らは歌ひつつ
「望みまたここにあり」
われらつねにここに歌はむ
横田 横田 その名よし横田高校
- 三、八雲立つ出雲
その雲のむらがるごとく
あらたなる世代の日にし
眉高き出雲の子らは叫びつつ
「あわれらここにあり」
もろともにはに叫ばむ
横田 横田 その名よし横田高校



島根県立横田高等学校

〒 699-1821

TEL (0854) 52-1511

島根県仁多郡奥出雲町稲原 2178-1

FAX (0854) 52-1512

ホームページアドレス：<http://www.shimanel.ed.jp/yokota/>

PTAの歩み

本校のPTAは昭和23年に結成され、生徒の幸福と健全な心身の育成をはかるという目的で様々な活動が行われている。組織は、会長ほか副会長2名、監事3名、各支部からの支部長1名、評議員数名、研修委員1名、生活指導委員数名で構成され、各地区及び全体のPTA活動の企画運営に当たっている。各支部は旧町村を単位とし、毎年4月に役員が選出され、5月の評議員会の後、総会が開催される。それ以後は研修委員会、生活指導委員会に分かれて、諸活動を行う。

主な活動として研修委員会では、昭和54年度から発行されている機関紙「まほろば」の編集と、企業見学などの研修会がある。特に平成3年、この企業見学の取り組みが全国高P連大会において全国表彰を受賞した。生活指導委員会では夏休み中の巡回指導、交通安全街頭指導、さらに、「まほろば」同様、昭和54年度から発行されている機関紙「みをつくし」の編集がある。また、全体での活動で特筆すべきものは、平成11年度から行われている年2回の環境美化のボランティア活動である。敷地内の草刈が中心で、毎回多くの保護者が参加する。平成18年度からは生徒も参加し、親子でのボランティア活動となった。

学校の特徴

大正8年、仁多郡立農学校として開校、その後県立横田農学校、県立横田農林学校、昭和23年には県立横田高等学校と改称され、今日に至る。農林学校時代に培った「協調と開拓」の精神は、今もなお「質実剛健」の横高魂として生きつづけている。平成7年度より本校の校訓を「凛々しく 毅く 逞しく」と定め、さらに、平成10年には教育目標として「耕心培学」を復活し、生きる力を育てるための心の教育を重視した。生徒、教師が一丸となって学習と部活動の両立に取り組み、そのたゆまぬ努力により、就職希望者の高い内定率と年々増加する進学希望者の高い合格率を維持している。また、入部率も毎年90%を超え、全国大会優勝経験のある男女ホッケー部をはじめ、男女剣道部、男子ソフトテニス部が全国総体常連として活躍している。特に平成18年度には、全国総体で男子ホッケー部が、国体では女子ホッケー部が全国優勝を果たし、平成19年度には男子ホッケー部が全国総体2連覇を成し遂げた。